Internet Explorer11 で電子証明書の取得・更新ができない事象について

本年1月中旬より Internet Explorer11(以下、IE11)で電子証明書が取得・更新ができない問い合わせが増加 しております。

本事象は、Microsoft 社における「Edge」の仕様変更が起因となっております。アップデート等により Edge の 仕様が変更となった状態で『IE11』を起動し、ページを遷移していると、自動的に Edge に切り替わりが発生する ことがございます。

その為、電子証明書の取得や更新時に、『IE11』にてホームページを開いた際に、自動的に「Edge」に切り替わり、「Edge」に切り替わったことに気づかないまま電子証明書を取得・更新を行うとエラー「RA006」となります。 (「RA006」: 推奨環境でないブラウザをご利用しているか、お使いのブラウザの互換表示設定がされておりません。)

お手数ではございますが、電子証明書の取得・更新は『IE11』のみ可能であるため、以下のとおり『IE11』から 「Edge」に自動的に切り換えさせないための対処法について、以下の手順により実施したうえで電子証明書の取 得・更新を実施していただきますようお願いいたします。

## <対処手順>

Edge を起動してください。



以下の場合においても、同様の対処にて解消されます。

- Internet Explorer でホームページを見ていると、自動的に Microsoft Edge に切り替わり、次のメッセージが表示された場合
- ・「アクセスしようとした Web サイトは、Internet Explorer では動作しません」
- ・「現在 Microsoft Edge でブラウズしています」→ Edge が起動するが操作できなくなる
- ・「このWeb サイトは Internet Explorer では動作しません」